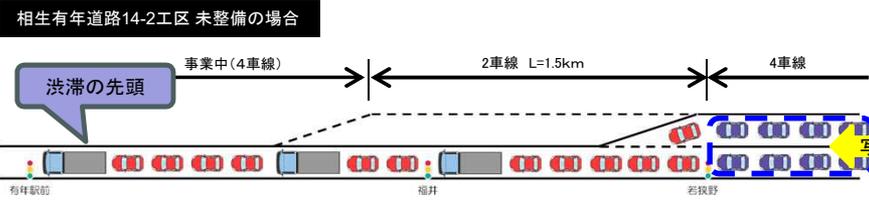


5か年加速化対策

現道拡幅(4車線化)による災害時の迂回・緊急輸送機能の向上

◆国道2号 相生有年道路

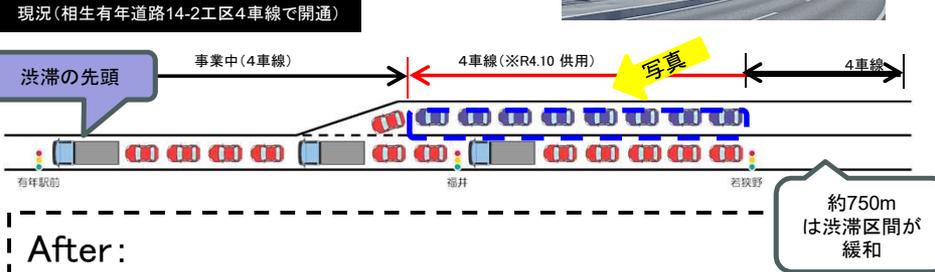


- Before:
- 当該区間は2車線で、交通量が多いうえ、大型車混入率も高く、緊急輸送道路としての機能が満足出来ていない。
 - また、令和5年9月5日に発生した山陽道トンネル内火災事故による通行止めにより、山陽自動車道に並行する、国道2号の交通量が大きく増加。

対策後



※トンネル内火災通行止めに伴う交通量の変化 (火災前週平日平均・土日平均比)
 (岡山方面) 平日最大: 276%増(9/15)
 (岡山方面) 土日最大: 364%増(9/16)
 ※出典 近畿地方整備局HPより



- After:
- 当該区間の4車線化により、災害時でも緊急車両の通行を確保。
 - 通行止めによる迂回交通の影響により、交通量が増加しているものの、4車線化した区間で渋滞が緩和し迂回機能が向上。